

## PMI日本支部 理事選挙 候補者 立候補所信表明

候補者氏名	伊藤 衡 (いとうこう)
Name of Candidate First name Family name	ko ito
所属組織 肩書	慶応大学大学院 システムデザインマネジメント研究科 非常勤講師
Business Title, Organization	Temporary Lecturer, Keio Univ. System Design Management Study
現職(担当)/ 新任	新任
Present / New	New
経歴	<p>学歴 1986 早稲田大学理工学部数学科卒 2007 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻卒 2013 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 博士後期課程単位取得退学</p> <p>職歴 1986 日本デジタルイクイップメント株式会社 1996 グローバルナレッジネットワークインク日本支社 2000 日本ヒューレットパッカート株式会社 2002 インテル株式会社 2007 ケブナートリゴージャパンLLC 2009 株式会社 富士ゼロックス総合教育研究所 2014 ボツワナ公務員大学 2017 現職</p> <p>PMIでの活動 2004- 翻訳出版委員会 2005- 教育委員会 2013 アジャイルPM研究会立上げ 2017- PMlef Japan Liason</p>
Biography	Worked at Digital Equipment Corporation, Hewlette Packard, Intel, Kepner Tregoe, Fuji Xerox Learning Institute and Botswana Public Service College for about 30 years. Now working as freelance trainer for several companies.
PMIおよび PMI日本支部への貢献所信 (次期)	理事としてどのくらい貢献できるか判りませんが、素晴らしい先輩方がいらっしゃるのていると教えていただきながら自分のできることを見つけていきたいと思っています。これまでの経験値から言うと、翻訳、教育、海外とのコラボなどの面で貢献できればと考えています。
Commitment for next term	I can't commit at this moment but I will try to contribute as much as I can.
PMIおよび PMI日本支部への貢献実績 (今期)	昨年海外より帰国し、活動を再開してからGAC申請プロジェクト支援のプロジェクト立ち上げと実施をおこないました。その後、PMlef Japan Liasonを立上げて、現在PKA(Project Kids Adventure)シリーズという小学校高学年向けのPM教材の翻訳作業を行っています。また、教育国際化委員会の活動の一環として、アカデミックスポンサー会議のお手伝いをさせていただきました。来季も引き続き、4人のリエゾンメンバーやアカデミックスポンサーの先生方と協力してPKA教材を利用した各種活動を企画実施していきたいと考えております。
Result of present term	Launch PMlef Japan Liason Helped GAC application process for Keio Univ. SDM. Helped Academic Sponsor Conf. as the member of PMlef Japan Liason

PMI日本支部戦略へのコミットメント（上位3視点） Commitment to PMI Japan Strategy (top Three)		
1	活動基盤の視点	お金がなくてもボランティアの力で社会的に意義のある活動ができるのがNPOの存在意義です。活動基盤となるお金も大事ではありますが、それを第一義的に考えることがあってはならないということを経験に銘じて活動をしていきたいと思っています。
	Activity Platform Perspective	I would always remember that we should create value for society by our own voluntary effort instead of by money. Of course, the financial resource is essential to maintain the organization, though.
2	プロセスの視点	私がPMIで活動を始めた10数年前に比べると組織も大きく立派になりました。一方で「ガバナンス」の名のもとに官僚的なプロセスやサイロが散見されます。これはどんな組織にもある避けられない副作用だと思いますが、なるべく現場のボランティアの方々が考える「こう言うことをやってみたらどうかしら？」というアイデアに立ちたはかるのではなく、背中を押してあげられる存在になりたいと思っています。
	Process Perspective	I would like to minimize the beurocracy and silo of the organization, in order to maximize the motivation of volunteers to try any new ideas.
3	ステークホルダーの視点	アカデミア、子供、主婦、LGBT、高齢者、障害者、アスリート、第1次第2次産業就労者、自治体、公務員、外国人などなど、より幅の広いステークホルダーにプロジェクトマネジメントの考え方を理解していただけるように様々な組織と連携して活動を広めていきたいと思っています。
	Stakeholder Perspective	I would like to challenge to disseminate PM concept to wider stakeholders by cooperating with existing board members.
PMI日本支部活動拡大および活動充実へのコミットメント Commitment to PMI Japan Chapter's Enlargement and fulfilling of activities		
X	支部会員増強	おやみに数値目標を設定して会員を増やすのは得策ではないと考えています。それよりも、もっと広い文脈でプロジェクトマネジメントをとらえて、若者や女性やお年寄りにもこの考え方をを使ってより豊かな人生を送っていただけるようみんなで考えていける場づくりができればと考えています。
	Strengthening Chapter Membership	I would like to disseminate the concept of project management to much wider audience such as kids, senior and women.
Y	法人スポンサー増強	スポンサー数が増えるのは結果であって目標であってはいらないと思っています。社会にとって価値のある活動が何かを真剣に議論して考え、それを自ら実践することが「プロジェクト」の本質だと考えます。結果、その価値を認められれば自然と支援者は増えると思っています。
	Strengthening Corporate Membership	I would like to concentrate to what I can do for society. Then as a result, the number of sponsorship would follow.
Z	活動充実への貢献	当面は現在様々な委員会や研究会で実施されている活動の実態を理解し、できる限りメンバーの方々の話を直接お聞きした上で、理事として支援できることを見つけていきたいと思っています。
	Contribution to Fulfilling of Activities	I will try to understand the current situation of various activities in PMI Japan chapter through conversation with practitioners. Then will figure out what I can contribute as the board member.